

ATTEN-

そういえば、この会社、昔悪いことをしてたよなあー

名だたる日本企業の不祥事・不正事件の数々		
パロマ	1980年代	湯沸器欠陥で一酸化炭素中毒死多発、対応に遅れ
三菱自動車	00年～16年5回	リコール隠し・放置、燃費詐称など
石原産業	2005年、2008年	産業廃棄物大量不法投棄、環境汚染
IHI	2007年	公募増資後に決算粉飾、巨額損失隠しが明らかに
東洋タイヤ	2015年	免震ゴムの不正、過去に断熱パネルでも不正
商工中金	2016年	国の危機対応融資に、ノルマ達成の押しつけ融資
スズキ	2016年、2019年	燃費詐称、無資格者検査が37年前から
日産自動車	2017年	無資格者検査が38年前から
KYB	2018年	免震・制震装置データ改ざん1万本、15年前から
レオパレス	2018年	7万5000戸に上るアパートの違法建築が判明
スバル	2018年	車両検査不正で、リコール53万台。マツダ、ヤマハも
大和ハウス	2019年	4千棟近い建築不正、多数社員による資格不正取得など
三菱電機	2022年	長年にわたり、8割近くの事業所で製品検査不正
日野自動車	2022年	少なくとも20年前からエンジンの排ガス・燃費不正
豊田織機	2023年	フォークリフト・エンジンの排ガス試験不正
大成建設	2023年	超高層ビル鉄骨施工不良、計測値改ざん

このところ名だたる企業の不祥事・不正が頻発しています。しかも常態化しているようです。これは恐ろしいことです。日本企業の存在感が世界で急速に落ちているのも、このあたりに根ざしているといえ、日本の産業全体の内臓疾患、いわゆる重篤な病気です。「他社もやっているから、うちも少しくらいやっても大丈夫」「ばれれば頭下げればいい」「人のうわさも七十五日」というような感覚が見受けられるのです。これらの不祥事や不正は、企業モラルの欠如、顧客利益最優先精神の欠落、内向きのぬるま湯体質、お上を見た経営が引き起こしています。お上と企業の馴れ合いも感じます。企業トップが官庁の役人にお詫びしている姿は日常のようになっています。なぜまず先にお上に行くのでしょうか。さて、これをどうしたら止められるか。よい特効薬があります。消費者は神様です。いわば最終審判者。我々消費者がこういった不祥事・不正を行った企業を「黒い企業」として孫子の代まで忘れないことです。「えっ、いまこの会社、偉そうにしているけど、昔悪いことしてたよなあー」。我々消費者が甘いことが、企業の不祥事・不正が多発する原因でもあるのです。「不祥事・不正を行った企業を忘れないで、その製品・サービスを孫子の代まで買わない」。これを合言葉にしたいものです。

COLUMN

成功者に見る教訓

この書(Lessons From the Best on Becoming Your Best)は、世界のあらゆる分野の成功者150人にインタビューし、どのような心構えで成功したかを説明しています。まずは成功に向けて2点。問題は必ず解決できるという「ゆるぎない信念」。そして「自己責任」。どんな逆境も周りのせいにはせず、自ら立ち向かう。あとの6つは以下の通り。

1. 周りの評価より、自己を動機付ける。外部の褒賞より、自己内部から来る動機付けに目を向ける。
2. プレッシャーに立ち向かう。特に緊張が高まる時に、気持ちをコントロールし衝動的にならない。
3. トレードマークになるほど、一貫して行動する。約束の時間より早く来る。早寝、早起き、毎日のウォーキング。単純で明解なものにして、大変なときに拠り所になるものを選ぶ。
4. 自分の強みを見つけ、それを強化する。強みが発揮されたときとか、他より秀でていた時を思い返す。
5. 一人よりチーム 目標に向かってまとまりのあるチームを組み、大きな大胆な目標を立てる。自主性を持たせ、チーム内で各メンバーが真摯に行動する。
6. 勇敢である。勇敢であるためには、自分を信じて、これまでの実績を振り返り、信頼できる人に助けを求め、失敗を糧に前に進む。

成功者は、意識して成功する気構えを創り、一貫して続け、強みを発揮して、さらにそれを強化するように励み、いつも困難に勇気をもって立ち向かう人なのです。

MARKET

	(3月末)	(2月末比)
日経平均	28,041.48円	+595.92円 (+2.17%)
NYダウ	33,274.15ドル	+617.45ドル (+1.89%)
米ドル	132.85円	-3.40円 (-2.50%)

私の書棚より

理想的な高齢者は、身体的な疾患や衰弱は経験するかもしれないが、頭は鋭敏で、80年かけて積み重ねてきた見識を生かすことができる。物事を知り尽くしていて、孫や他の訪問者にいつも賢明な助言を与えられる。

-『ホモデウス』 ユヴァル・ノア・ハラリ著

内なる「抵抗」に抵抗する

米国の書籍(下記の出典図書)に、仕事や人生に深い洞察を加えた書がありましたので、紹介しましょう。

人は往々にして、やらずにさぼる。やらずに“抵抗(Resist)”しがちです。この抵抗は、自己改善や創造性ある仕事を妨げる。そして、仕事が達成に近づくほど、抵抗は強くなる。だから何かを創り出そう、あるいは成長しようとするれば、日常的にその抵抗に打ち勝つようにしなければならないのです。いわば今の自分と未知の自分の間に常にあるのが、この“抵抗”です。

抵抗は、今日やることを先に延ばしたり、誘惑されやすいことをやったりする気持ちという形で現れます。この抵抗に屈すると、それが悪習や中毒となってきます。物をたくさん買ったり、たくさん食べたりして、抵抗を抑えようとしてはいけません。あなたは、人の不幸に乗じてよくない商売する社会にいるのです。だからこのような動きに抵抗し、正面から立ち向かわなければならぬのです。

ルール1

目標を達成しようとしてそれに近づけば近づくほど、抵抗を強く感じるようになる。頂上に近づけば近づくほど、傾斜がきつくなるのと同じだ。時を待たずに、創造性ある物事を成し遂げるべく取り組む。自分との戦いである。

プロフェッショナルリズム

プロフェッショナルリズムは創造力ある人の不文律。やる

べきことに集中する。他は全部捨てる。プロフェッショナルは、執拗な頑固さで、この抵抗と闘う。インスピレーションが湧かなくても、怖れを抱えていても、退屈でも、飢餓感に襲われても、仕事を淡々と続ける。この人物は、自分の旅は短距離走ではなく、マラソンだということを理解している。プロフェッショナルは仕事を天職として意識していて、雨が降っても晴れていても、くる年もくる年も、日々仕事をする。仕事をしない言い訳をしない。そして、混乱(Chaos)を避ける。やるべき仕事ができなくなるからだ。そして自らのスキルを伸ばすことに全力を尽くす。向上心を絶えず持ち続ける。そして与えられた条件のもとで働き、すべてが恵まれた環境を持つとは思わない。

では具体的に、どのように、この取り組みを進めていくか、著者がいうところを見てみましょう。

沈黙思考、天使(神)、自分

プロフェッショナルは、見えない心的な力を取り込んで、目的を達成する。抵抗と戦うための仲間、すなわち沈黙思考、天使(神)、そして自分、この3つが、より高みからインスピレーションを与えてくれる。

このような考え方について行けないと思う人も多いでしょう。それこそが、仕事を成し遂げるために、もっとも大きな抵抗、すなわち「自分」なのです

出典図書: The War of Art, Break Through the Blocks and Win Your Inner Creative Battles

まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に提供してはならず、お客様にもっとも適した金融商品をお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観のもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ!

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者: びとうファイナンシャルサービス

代表取締役 尾藤峰男

電話: 03-6721-8386

携帯: 070-5567-3311

電子メール: info@bfsc.jp